クマ撃退スプレーの備え方

近年、クマの出没情報数の増加に伴い、人身被害も増えています。クマによる人身被害を避けるためには、**クマに出会わないようにすることが最も重要**です。

一方で、クマ撃退スプレーを備える場合は、**事前の確認・準備**が必須です。

1 選ぶ際のポイント

- クマ用、かつ、撃退用のスプレーを選ぶ
- 噴射距離や時間などの性能表示をよく確認する

2 保管・持ち運びなどのポイント

- 高温になる場所、こどもの手の届く場所に置かない
- 必要なとき以外は、「持ち歩かない」、「安全装置を外さない」

3 使用する際のポイント

- 事前に使い方を確認し、すぐに取り出して噴射できるように身に着ける
- 5～10m程度の距離を置いた状態でクマの顔面（目、鼻）を狙って噴射する
- 人、テントや荷物などに吹きかけない

本資料に掲載しているイラストは生成AIを活用して作成したものです。

消費者庁 Consumer Affairs Agency, Government of Japan

環境省 Ministry of the Environment

独立行政法人 国民生活センター NATIONAL CONSUMER AFFAIRS CENTER OF JAPAN

詳細は各QRコードからご確認ください。

『クマ撃退スプレーの性能に係る推奨要件』の概要

環境省

1　作成の背景

- 近年、クマによる人身被害が深刻化しており、近距離で遭遇した際の危険回避手段としてクマ撃退スプレーへの関心が高まっている
- 一方で、国内にはクマ撃退スプレーに関する規格等が存在せず、性能や品質が様々な製品が流通していることが確認されている
- 環境省では、国内外の科学的知見や有識者の意見を踏まえ、様々な状況下で人命を守るために必要と考えられる「**クマ撃退スプレーの性能に係る推奨要件**」を作成した
- また、消費者庁、（独）国民生活センターと連名でクマ撃退スプレーに関する国民向けの注意喚起資料「**クマ撃退スプレーの備え方**」を作成した

クマ撃退スプレーとは
※本要件における整理

クマとの近距離での遭遇時において、クマの攻撃や接近など**人にとって望ましくない行動を、噴射により一時的に抑止する**ためのスプレー製品 ※忌避を目的としたクマ撃退スプレーの事前噴射は推奨されない

2　推奨要件のポイント

※本推奨要件を満たしていない製品の効果を一律に否定するものではない
※個別の要件への適合のみで優れた性能とは評価できず、推奨要件を総合的に満たす設計であることで、クマと遭遇する様々な状況において対応することができる点が重要

①　有効成分の表示方法と含有濃度

- **表示方法**：カプサイシン・関連カプサイシノイドの濃度（CRC濃度）を「%」で表示
- **含有濃度**：CRC濃度 1.0～2.0%程度を目安
  小数点第１位まで表示

②　噴射距離・噴射時間

常温・無風の条件下で、以下の要件が両立されることが望ましい。

- **噴射距離**：7.5m程度以上
- **噴射時間**：６秒程度以上

③　噴射パターン

- 円錐状に広がる霧状（ミスト状）噴射であること
- 空気中に滞留しやすい微細な粒子が噴射されること
- 棒状の液流タイプは非推奨

④　噴射機構（アクチュエーター）、安全装置

- **方向判別・操作性**：クマから目を離さず、手探りで取り出し、噴射方向が判別できる構造
- **安全装置**：歩行中の振動や藪に触れた程度では外れず、使用時にはすぐ外せるセーフティクリップ等の安全装置が付いていること
- すぐに取り出して使用できるように、腰や胸付近に身に着けるための専用の携行用ケースの活用
- 必要時のリュックやサイドポケット等に入れての持ち歩きは非推奨

⑤　使用期限

- 経年劣化を踏まえ、必要な性能が維持される期限を設定・表示

⑥　製品表示、事業者が公表すべき事項

- 性能（CRC濃度・噴射距離・噴射時間・噴射パターン・使用期限）、基本的な使用方法、使用・保管・廃棄の注意事項等をパッケージ等に明記する
- 使用事例や噴射試験動画等の公表が望ましい